

ボランティア活動の5つのポイント

1. 興味や関心がある身近なことから始めよう！

せっかく取り組むのであればなるべく継続したいものです。興味や関心のないことから始めても長続きはしません。今の自分にできる身近なことから参加しましょう。

2. 無理をしない！

何ごとにも無理をしないことが大切です。最初から欲張ってたくさんのをしようとせず、余裕をもってできることから始めましょう。

3. 約束やルールは必ず守ろう！

活動には多くの人に関わっています。まわりの人に迷惑がかからないよう、約束やルールは必ず守りましょう。個人情報などの秘密を守ることも大切です。

4. 相手や関係者の立場を尊重しよう！

ボランティア活動では、さまざまな立場や思いの人たちが、さまざまな役割で関わります。相手を尊重しお互いに連携しながら、効果が上がるように活動しましょう。

5. 保険にご加入ください！

ボランティア活動中に不幸にして事故が起きることがあります。低額で加入できますので、ぜひ、万一の備えとしてボランティア活動への保険にご加入ください。申し込みは最寄の市区町村社会福祉協議会までお問い合わせください。

災害ボランティア 注意点

正しい情報入手

被災地へのボランティアについては、事前には的確な情報入手をしてください。予め当該ボランティアセンターのホームページをご確認ください。

十分な準備

災害によって活動時に必要な服装が違いますので、十分な準備をお願いします。

ボランティア保険

必ずボランティア活動保険に加入してください。被災地入りする前に、最寄りの社会福祉協議会で加入してください。

識別できる服装

身分証明書等の携行や所属する団体・グループ等の腕章・ビブス等をつけ、ボランティアであることが識別できる状態で活動してください。

その他

現地に行くことができなくても、募金活動、支援物資の送付という支援活動もあります。
※いずれも現地で必要とされている支援であるか、ご確認ください。

被災された方々と接するにあたっての心構え

- (1) 復旧や復興の主役は被災された方です。
ボランティアはそれをサポートする存在であるという原則を忘れないように心がけてください。
- (2) 水・食料・常備薬・適切な服装・保険等の必要な備えをするなど自己責任・自己完結が原則です。被災された方・被災地に負担をかけないことが求められます。
- (3) 仲間とよく話し合い、一人で仕事を抱えこまないようにしてください。また、単独での行動は避けるようにしてください。
- (4) 被災された方に頼まれても、自分や周囲を危険に巻き込むような仕事は引き受けないでください。
(当該ボランティアセンターの指示を仰いでください。)
- (5) 被災された方の立場をできるだけ理解し、自分の判断を押しつけるようなことは避けてください。また、必要以上に自分の経験や考えを押し付けることも避けてください。
- (6) 活動場所によっては、被災された方に直接お会いする機会はないかもしれませんが、復興・復旧のためのボランティア活動がなされたことは承知されています。

ボランティアにとって最も大切な視点

「被災された方の目線で考える」

例えば…… 「被災地」ではなく「地名」、「がれき」ではなく「ご自宅」

「ゴミ」ではなく「家財」

ふとした一言が相手の心を温かくもすれば傷つけることもある。